



王一だより

令和5年7月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本直美

教育目標 **な** 仲良く助け合う子 **か** 身体をきたえ元気な子 **よ** よく考え最後までやりぬく子 **し** 親切で礼儀正しい

時間のある夏休みに 読書でも

副校長 水元 満哉

夏休みまで、あと3週間となりました。今年の夏休みは、久しぶりに制限のない夏休みということで、計画を立てているご家庭もあるのではないのでしょうか。私自身の夏休みの思い出は、ラジオ体操に行ったこと、クワガタ捕りに行ったこと、ソフトボールを毎日やったこと、キャンプに行ったこと、プールに行ったこと、祖父母の家で農作業を手伝ったこと、自由研究に悩んだことなど、様々です。しかし、どれも貴重な体験で、忘れられない思い出として心に残っています。

先日、学校図書支援員との会議があり、その中で、本校の学校図書館の図書の貸出冊数について、大幅に増えたコロナ禍1年目の3年前を除き、ここ4年間貸出冊数は、毎年増えているとの報告を受けました。4年前から児童数が減り、子供たちの読書離れが指摘され、電子書籍なども進んできている今の時代に、紙媒体の本の貸出が増えているということは、うれしい報告でした。

本校では、読書の時間などを設けるようにしていますが、それだけでは読書量はなかなか増えません。ご家庭で読書を進めていただいていることもあると思います。たくさん読書を行う中で、子供たちにとって心に残る本との出会いがあることを願っています。

読書への興味・関心を高めるために、本校では、お話の会、読み聞かせボランティア（さくらんぼの会）、蔵書ボランティア（どんぐりの会）など、多くの皆様が、子供たちのために活動をしてくださっています。心より感謝申し上げます。このような王一小の恵まれた活発なボランティアなどの活動も、読書量に大いに関係していることと思います。読書の秋とまではいきませんが、暑さで体を休めている間などに、少しでも本に触れる機会をもってほしいと思います。

今年度は、数年ぶりに夏季水泳と同日に学校図書館の開放や読み聞かせ、保護者に向けての読書感想文の書き方講座を予定しています。夏休みを利用した学校図書館の開放を、どのように進めるか計画中ですが、少しでも子供たちが読書を行う機会になればと考えています。後日お手紙を配布いたします。ぜひ夏季水泳といっしょに、学校図書館での読書もお子さんにすすめてください。本を通して親子の会話が増え、コミュニケーション力の向上につながれば幸いです。

42日間の長い夏休みが始まります。時間のあるこの夏休み、いろいろなことにたくさんチャレンジして、充実した夏休みになることを願っています。そして、9月1日には、元気にまた一段とたくましくなった子供たちが、元気に登校してくるのを待っています。